



学校だより

伸びゆく子

令和3年9月30日
横浜市立中沢小学校
10月 号

つながりを感じて～みんなの顔が見えることで～

学校長 川又 美貴子

長く続いていた緊急事態宣言が9月30日をもって解除され、横浜市の感染状況も少し落ち着きを見せてきました。いよいよ10月4日から学校も全面再開となります。保護者、地域の皆様におかれましてはたくさんの連絡やお願いにご理解、ご協力いただき、本当にありがとうございました。

分散登校中は、各家庭のご協力により毎日オンライン朝の会を実施することができました。オンライン朝の会では、健康観察やその日の学習予定の確認に加え、クラスの実態に応じて、AグループとBグループでクイズや質問を出し合ったり、普段なかなか見せ合うことのないぬいぐるみやかわいがっているペットなどの「宝物」を見せ合ったりする姿が見られました。また十五夜の翌朝には、「先生、お月様見ましたか？」という質問に始まり、満月や十五夜、お月見についてクラスみんなで盛り上がっているクラスもありました。短い時間ながら有意義に活用し、クラスをつながりを大切にしている姿に、日々驚きや感激の連続でした。

今回のオンライン朝の会や、ロイロノートを活用した学習への取組などを通して、今後、万が一の事態においてオンライン授業を進められる目途が立ちました。子どもたちが端末を操作し、Google classroomやmeetを立ち上げたり、プリントやノートを写真に撮ってロイロノートで提出したりするなど、1年生でもあっという間に使い方に慣れ、活用する力がついてきたことは一定の成果と考えます。一方で、インターネットを活用していく上で、いかにして犯罪被害から子どもたちを守るか、また子どもたち自身がだれかを傷つけないようにしていくか、という課題にも直面しています。一人ひとりがマナーやモラルを守り、自分も周りの人も大切にしていけるようにすることは、インターネットの利用に関わらず、大切にしていかなければならない重要な課題だと考えています。これからも学校と家庭とが力を合わせ、一緒に子どもたちを見守っていけるよう、ご協力よろしく願います。

さて、10月15日（金）は中沢小学校の51周年の創立記念日です。たくさんの卒業生、地域、保護者の皆様に支えられながら半世紀の時代を積み重ねてきた中沢小学校は、今、旭区で最も児童数の多い小学校です。多くの仲間に関われ、たくさんのつながりをもてることは、とても素敵なことです。子どもたちには、自分とは異なるたくさんの思いや考えに触れ、この中沢小学校で自分らしさの礎を築いてほしいと思います。

いよいよクラスの友達が顔をそろえます。分散期間中は人数が少ないことでゆったりと過ごし、いつもより担任とたくさん話げできた子どもたちもいました。久しぶりの大人数の教室でも、子どもたちが安心して過ごせるよう、教職員一同、一人ひとりをしっかり見つめて対応していきたいと思います。10月は運動会に向けての活動も始まります。友達みんなの顔が目で見えるようになり、オンラインとは異なるつながりのよさを存分に感じる事ができるのではないのでしょうか。さわやかな陽気の下、元気な声が校内に響く日々を楽しみにしています。